

【概要】

これまでに修得した生理学、解剖学、病理学、薬理学、環境衛生化学、分析化学などの知識を基にして、ヒトにおける薬毒物の毒性発現の機序と体内動態を理解する。これらは3年前期の衛生薬学実習の内容と関連性が高い。実習を行うことにより、さらに理解を深める。また薬剤師として必要な薬毒物（毒物及び劇物、麻薬及び向精神薬、覚せい剤、大麻、アヘン）の知識を修得する。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による